

留 学 報 告 書

記入日:2020年05月26日

属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 南ユタ大学 現地言語: 英語
留学期間	2019年8月～2020年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月29日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月上旬～4月下旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	1897年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料		円	交換留学のため払っていない
宿舍費	3190	35万円	
食費	3369	37万円	ミールプラン
図書費		円	
学用品費	3800	39万円	日用品、教科書代など含む
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	1000	11万円	形態:明治大学からの保険
渡航旅費	2600	27万円	
ビザ申請費	300	3万円	
雑費	4000	40万円	旅行費、旅行中の宿泊費など含む
その他		円	
その他		円	
合計	18259	192万円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田 目的地:シーダーシティ 経由地:ソルトレイクシティ	
復路 出発地:ラスベガス 目的地:成田 経由地:サンフランシスコ	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:DELTA 料金:19万 復路 航空会社:ANA 料金:8万 ∴合計:27万	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:スカイキャナー) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Cedar Hall) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4 人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
大学の斡旋	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
同部屋の人との相性があるがアジア人は同じ部屋にされる傾向があります。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
仲の良かった友達に聞きました。田舎町であるため特に危険な状況にあったことはありませんでした。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
特に問題はなかった。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
ソニーバンクのクレジットカードを持っていき、必要な時に入金してもらいました。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。	
サトウのご飯とインスタント味噌汁がおすすめ。現地での食事に飽きたときに手軽に食べれるので。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? 1 学期 18 単位まで		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Acculturation		文化変容
科目設置学部・研究科		
履修期間	秋学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 2 回	
担当教授	Jake Smith	
授業内容	アメリカの大学がどのようなものか、直面する問題、異国の地での適用方法について	
試験・課題など	エッセーが 2 回と期末試験	
感想を自由記入	アメリカの大学、生活で問題に直面した際にどのように対処すればよいかを学べた。また、課題でイベントに最低8つ参加して自撮りをし先生が配った冊子に貼って思い出作りができたのが印象的だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Intro to International Relations		国際関係論入門
科目設置学部・研究科	Politics	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Michael Stathis	
授業内容	世界大戦などの戦争や論争の観点から国際関係を思考する。	
試験・課題など	エッセー 2 回と試験 3 回	
感想を自由記入	初めての留学でありアメリカでの授業ということもあり、教授の話聞きながらノートを取るが大変だった。しかし教授はとても優しい方で毎回授業後やオフィスパワーで質問をすると丁寧に答えてくれた。授業で理解できなかったところを友達にも聞いて慣れていき自分の成長を感じることができた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Interpersonal Communication		対人関係におけるコミュニケーション	
科目設置学部・研究科	Communication		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Jonathan Holiman		
授業内容	対人関係における問題、課題について学び考察していく。		
試験・課題など	ペーパーワーク、オンラインテスト		
感想を自由記入	グループワークで話し合った内容を発表する機会が多くあり楽しかった。またマーベル作品を扱い、どのような様式のコミュニケーションがとられているかを考えパワーポイントにまとめるなどユニークな課題もあり面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Hospitality Management		ホスピタリティマネジメント入門	
科目設置学部・研究科	Hotel, Resort&Hosp Mgmt		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	AJ Templeton		
授業内容	宿舎、クルージング、レストラン、テーマパークなど多方面でのホスピタリティ業界について		
試験・課題など	ケーススタディ 6 回、プロジェクト 3 回、中間、期末試験		
感想を自由記入	日本ではあまり馴染みのないクルージング業界、カジノなどの娯楽施設の実態、運営形態などが学べた。Tourism Management の教授と同じ人で課題が多く提出期限も被っていたため非常に大変だった。この講義を受け終わったときに達成感を味わうことができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Tourism Management		ツーリズムマネジメント	
科目設置学部・研究科	Hotel, Resort&Hosp Mgmt		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	AJ Templeton		
授業内容	観光業界における影響、マーケティングについて		
試験・課題など	オンラインテスト 6 回、ツーリズムに関するニュースまとめ 5 回、ツーリズムプロジェクト課題 3 回、学期末にプレゼンテーション		
感想を自由記入	観光業に興味があったため非常に興味深い授業だった。教授は優しい方で質問しに行くたびに丁寧に対応してくれたので課題は多かったが充実していた。また学期末にプロジェクト課題に沿って様々な国、州を紹介するプレゼンテーションが面白かった。私は日本を紹介し、みんな興味を持ってくれて充実した授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Diversity		多様性	
科目設置学部・研究科	History		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Kholoud AI-Qubbaj		
授業内容	多様性を構築する文化、宗教、人種などについて		
試験・課題など	エッセー3回とプレゼンテーション		
感想を自由記入	グループプレゼンテーションがあり色々なトピックについてディスカッションする機会があり充実していた。また様々な地域について触れていたの色々な国の実情を知るいい機会だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Lifespan Development		生涯における発達	
科目設置学部・研究科	Psychology		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Kevan LaFrance		
授業内容	人間が生まれてから生涯を通して発達する過程について		
試験・課題など	グループプレゼンテーション、エッセー2回、試験 4 回		
感想を自由記入	専門用語が多く出てきて大変だった。試験も 4 回あり比重も高かったので毎回テスト勉強に時間を割いていた。課題で幼児観察がありどのような行動がみられるか、授業で学んだ特徴が表れているかを観察するのが面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Thinking and Listening Critically		批判的思考と聞き取り	
科目設置学部・研究科	Communication		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Danianese Woods		
授業内容	論理的思考法について		
試験・課題など	ディベート 2 回、エッセー5回、ディスカッションワーク 3 回、プレゼンテーション		
感想を自由記入	プレゼンやディベートを行い、授業で学んだ論理的思考法で発信する実践することができ、いい練習になった。またグループで考えるものも多く、考えを発する機会が多かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Marriage and Family Relations	結婚と家族関係
科目設置学部・研究科	Family Life&Human Development
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Jim Mock
授業内容	結婚、離婚、家族関係の構築について
試験・課題など	チャプターごとのクイズ、エッセー2回、中間、期末試験、オンラインディスカッション
感想を自由記入	日本の大学では学べない内容で非常に面白かった。グループワークやディスカッションをすることが多かったため、自話すいい練習になり、必然と発表することが多く充実した授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Team Work, Decision Making, and Leadership	チームワーク、意思決定、リーダーシップ
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Jessi
授業内容	いいチームワークを生むにはどのようにすればよいか、またどのようにリーダーシップ発揮していくかについて
試験・課題など	リフレクションペーパー5回、プレゼンテーション、期末レポート
感想を自由記入	留学を通して一番面白く成長できたと感じる授業だった。教授の授業を受けるだけの受動型でなく、生徒一人一人が考え能動的に行われていて充実していた。グループを作り、グループごとにアクティビティを考え、それがどのようにチームワークに繋がるかを考えるのが楽しかった。 また、市長などのゲストスピーカーが毎週来て、リーダーシップの経験などを聞くことができ将来に活かせるような授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Entrepreneurship Speaker Series	ゲストスピーカーによる起業家論
科目設置学部・研究科	Entrepreneurship
履修期間	春学期
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が1回
担当教授	Tyler Stillman
授業内容	毎週ゲストスピーカーによる講義
試験・課題など	リアクションペーパー6回
感想を自由記入	毎週色々な分野の起業家が来て、どのように成功したのかなどの経験談を通して起業のノウハウやリスクマネジメントなどを知ることができた。 日本の大学では学べないような貴重な話を聞くことができた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

2018年 1月～3月	
4月～7月	入学 留学を志し始める。
8月～9月	留学先を調べる。TOEFL 受験
10月～12月	留学の出願、選考
2019年 1月～3月	留学先大学の手続き
4月～7月	ビザ取得、派遣先とのやり取り、寮の申し込み、授業登録、パッキング
8月～9月	留学開始
10月～12月	授業にも慣れるが特に課題や試験に追われ一番忙しい時期だった。
2020年 1月～3月	春学期開始。コロナウイルスの流行のため 5 月中旬までアメリカに滞在する予定が 3 月末に帰国。
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私が南ユタ大学を選んだ理由は、治安がよく大学のイベントなど活発に行われているからです。また、航空学部など珍しい学部もあり、様々な経験をできると思ったからです。私は留学はおろか一人暮らしもしたことがなく一人で異国の地で生活していくことが初めてでした。もちろん留学は楽しみではありましたが、不安も大きかったです。留学に行ったほとんどの皆さんが言うように留学は楽しいことだけでなく大変なこともたくさんあります。その中でどんな行動を取れるかが留学を充実させるかを決めると思います。ぜひ留学を志す皆さんには色々なことに挑戦し、留学生生活を充実させられるように頑張ってください。

留学生生活全般について勉強面では、日本よりはるかに課題が多く勉強に割く時間は多かったように感じます。一時期課題や中間テストに追われ、特に忙しい時もありましたが、優先順位をつけどの課題をどのくらい、いつまでに終わらせるか計画を立てることが重要さを感じました。こう見ると勉強ばかりしていたのではと思う方もいると思いますが、そんなことはありません。南ユタ大学では、ほぼ毎日のようにイベントがあり、私はほぼ全てのイベントに参加していました。どれもとても面白く特に印象に残っているイベントは学内でお金を使わずチップで行うカジノです。もちろん勉強は大変ですが積極的にイベントに参加することで新しい友達との出会い、新しい発見に繋がると思います。

留学生生活で様々な学生との交流、異文化交流を通してたくさんの経験をすることができました。留学中は辛かったり、大変なこともあります。それ以上に楽しいことがたくさん待っています。留学を通して自分自身の成長を実感することができ、充実した留学生活にすることができたと思っています。

これから留学を志す方は自分は留学で何を学び、何をしたいのか、目的を明確にするといいと思います。その目標に向かって積極的、主体的に行動すればきっと充実した留学になると思います。みなさん色々悩むこともあると思いますが、とりあえず行動してみればなんとかなるものです。留学に向けて迷うこともあると思いますが、目標に向かって頑張ってください。